



小村 初彦 (公明党)

定住自立圏構想の

方向性を問う

子育て支援サービスの向上など

議員 定住自立圏構想について、平成二十四年度を定住自立圏構想形成の年、平成二十五年度を定住自立圏スタート初年度と位置付けているが、現段階での具体的な方向性は。



定住自立圏構想のイメージ

ていきます。また、全国的に空き家を強制撤去できる条例を制定する動きがあり、青森県内でも青森市を初め数市町村で検討を始めています。今後も空き家の増加が予想されることから、対応について鋭意検討していかねければならないものと認識しています。

市長 関係市町村との協定において、生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネージメント能力の強化の三つの視点から連携項目を組むこととしています。生活機能の強化として圏域内の子育て支援サービスの向上や広域観光の推進など、結びつきやネットワークの強化として地域公共交通ネットワークの維持などがあります。現在は、九月の協定締結に向けて「できることから着実に」を合言葉に作業を進めています。

議員 焼山地区には多数の廃屋や空き家があり、景観が悪く誘客にも支障を来している。行政が関与しなければ解決できない問題であるが、どのような対策を考えているか。

議員 太陽光発電等に対し、助成金制度を設ける考えは。

民生部長 六月から住宅リフォームの際に、県の事業を活用した住宅リフォーム促進支援事業を実施しており、太陽光発電装置も対象となっています。当面は同事業や国の制度を活用していただきたいと考えており、新たな助成金制度を設けることは考えていません。



石橋 義雄 (高志会)

今後の市政運営にかける 想いは この身をささげ、 誠心誠意取り組んでいく

働を基本としながら、種々にわたって取り組み、一応の成果は出ているものと思っていますが、元気な十和田市づくりはまだ道半ばにあります。これからも市政を担い、マニフェストの実現に向け、この身を捧げ誠心誠意取り組んでいくことが私の責任であると思っています。

議員 市民の利便性を考え、都市計画道路下平・東小稲線と市道小林四号線を結ぶ道路を建設する考えは。

建設部長 都市計画道路下平・東小稲線は、市街地の東部を旧国道四号線と並行する路線で、大学通りから中央モータースクー



下平・東小稲線の南端地点

議員 これまで公共施設の建設や整備に充当してきた電源三法交付金を街路灯電気料に充当し、町内会負担を軽減する考えは。

民生部長 市では街灯について、市が設置し維持管理する防犯灯、町内会が設置し維持管理に町内会負担がある街路灯に区分しています。これまで防犯灯を優先して整備してきました。今後も引き続き防犯灯の未設置地域の解消に取り組みしていきます。街路灯に係る町内会の負担割合の緩和については、防犯灯の整備状況や市の財政状況を見極めながら前向きに検討していきます。

観光商工部長 個人が所有している建物に対して市が勝手に撤去することはできず、あくまでも所有者に管理責任があります。しかし焼山地区は観光地であり、景観等への影響、安全確保や衛生上の観点から、苦情に対し注視し

議員 小山田市長は、就任以来財政健全化、中央病院の経営改善、定住自立圏構想の推進など素晴らしい成果を上げています。残す任期は半年だが、まだまだ頑張っていたらいいところがあると思います。今後の市政運営にかける想いは。

市長 市民と行政の協

第2回定例会は、9人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ（9月掲載予定）をご覧ください。